

みやこじがっこう通信

～都路地区幼・小・中連携推進事業広報誌～

平成29年2月16日(木)
第3号

事務局：田村市立都路中学校

夢を持ち夢を膨らませ夢の実現に向け頑張る子どもの育成

新入学児童・生徒説明会を開催しました

ようこそ中学校へ！

1月30日(月) 古道小学校と岩井沢小学校の6年生と保護者を対象に、都路中学校「学校説明会」を開催しました。

校舎見学のあと、中学校の授業の様子を見学しました。学校説明の話では、授業について、生徒心得についてなど、生徒会役員が詳しく説明をしました。

あと2か月で中学生です。夢と希望をもって中学校に来てほしいと思います。楽しみに待っています。保護者の皆様、お忙しい中ありがとうございました。

ようこそ小学校へ！

2月6日(月) 来年度都路小学校に入学する児童と保護者のみなさんを対象に、「新入生入学説明会」を開催しました。

都路小学校第1期生となる9名のみなさんは、1年生のお兄さんやお姉さんから「ようこそ あたらしい1ねんせいのかい」に招待され、メダルをもらったり、お買い物をしたりと楽しいひとときを過ごしていました。

また、保護者の方々には、入学の準備やPTAについての説明を行いました。

新しいランドセルを背負って、すずらん坂を元気に登ってくる日を在校生一同楽しみにしています。保護者の皆様、ありがとうございました。



都路小学校 校章

小学校統合に向けて

「学校が閉校になるのは寂しい。でも、新しい学校になると人数が増えるので、ソフトボールやサッカーなど大人数の運動ができるようになるのは楽しみ。」

5年生の男子A君の今の気持ちです。子どもたちは、今年1年間を140年の学校の歴史の締めくくりにあつさわしいものにしようと活動してきました。授業では、できるだけ地域にかけ地域の方から学んだり、地域の方々に来ていただいたりしました。行事では、たくさんの地域の方々とともに運動会を盛りあげました。また学習発表会では、学校の歴史を振り返り発表しました。このような活動を通し、この学校がとても大切なものであり、地域の人達にとって心のふるさとであることを実感していきました。同時にこの学校で学んでいることに感謝する心も育んできました。

現在は、新しい学校の校章や校歌も決まり、鼓笛隊の演奏では新しい校歌を練習しています。また1年間に渡って交流学習を行ってきたため、2校の子ども達はお互い仲も良く、不安は当然あるものの、4月からの学校生活を楽しみにしています。(岩井沢小学校長 佐藤政俊)

柳津町へ教育視察に行ってきました

11月28日(月) 古道小学校から2名、岩井沢小学校から1名、都路中学校から2名、合計5名の先生たちが柳津町へ教育視察に行ってきました。



柳津町立西山小学校、西山中学校を訪問して、タブレットを活用した授業を参観しました。授業にICT活用は欠かせません。児童・生徒が当たり前のようにiPadを使いこなしていました。また、アントレプレナーシップ教育についても勉強してきました。都路の子どもたちのためにも、取り入れられるものを積極的に取り入れていきたいと思います。

「スクールタクト」

スクールタクトのアプリを活用することで教材や写真等、提示資料、発表資料、ノート内の考えが一瞬で共有できるよさがあり、聞くだけの授業から主体的な授業に変わる。ひらめきや工夫を連鎖させ、児童・生徒同士の思考力や判断力を育むことができる。

「ロイロノート」

子供たちからの発信を助け、共有、蓄積し、学び合うためのツール。先生から児童・生徒への一方通行の授業ではなく、子供たちからの発信が容易になることでその機会が増え、自然と主体的に学ぶ授業へと変容していく。双方向授業を簡単に実現できる。

「アントレプレナーシップ」教育

起業家精神のこと。「地域を魅力的にし、地域を活性化するために」をテーマに、観光パンフレットづくり、農産物の栽培・販売、地域の新たな土産物を開発しようと取り組むことで、問題発見能力、チームワーク力、自己評価力、企画力、リサーチ力(情報収集・分析能力)、プレゼンテーション能力、コミュニケーション能力、チャレンジ精神などを育成することをめざして実践している。

幼・小・中連携アンケートから

今年度の連携のまとめとして教職員全員にアンケートを実施しました。

結果は右の表のとおりです。

おおむね良好です。しかし、課題としてあげられるのが、「リーフレットの活用」と「家庭学習の家庭への啓発」です。

来年度は、小学校が統合となりこども園、小学校、中学校がそれぞれ一つになります。連携の課題を解決しながら、ますます連携を深めていき、子ども達にとって有効な連携を推進していきたいと思っています。

気づいたことや気になることがありましたら、いつでも電話で連絡してください。

＜プロジェクト1:幼・小・中教員交流による授業の質的改善＞		%			
		なっている	少しなっている	あまりなっていない	なっていない
1	○学習指導充実のために授業研究会を実施していますが、幼・小・中11年間を見据えた教育活動を行っていく上で参考になっている。	87	13		
2	○他校種の授業の参観並びに協議したことにより、自分の授業を振り返る機会となった。	87	13		
3	○幼・小・中教員交流による授業は、夢の実現に向けて学習・生活の両面からがんばることのできる子どもの育成の一助となっている。	74	26		
4	○家庭学習の充実を図るため、「みやこじっ子の生活と学習」リーフレットを活用している。	21	36	36	7
＜プロジェクト2:園児・児童・生徒の交流による夢の実現に向けた教育活動の充実＞		%			
		図った	少し図った	あまり図らなかった	図らなかった
1	○清掃活動・福祉体験・キャリア教育など体験活動の充実を図った。	75	25		
2	○地域や地域の人のとの関わりを大切に活動を行うことができた。	72	25		3
3	○音楽祭・文化祭・学習発表会などの活動発表の場は、子どもたちの活動を充実させるために有効であった。	94	6		
＜プロジェクト3:特色ある教育活動の推進＞		%			
		努めた	少し努めた	あまり努めなかった	努めなかった
1	○心の教育及び健康教育、体験活動の充実に努めた。	52	45		3
2	○自然に親しむ活動や伝統文化、古典に親しむ教育活動の充実に努めた。	41	45		14
3	○「みやこじっ子の生活と学習」リーフレットを意識して、家庭学習の課題を計画したり、家庭への啓発を図ったりした。	48	20	28	4